



四国山の日

11月11日は四国山の日

四国の森づくりinかがわ

～元気な森を四国の森からとどけよう！～



平成23年10月29日（土）・30日（日）

四国の森づくり実行委員会

（徳島県・香川県・愛媛県・高知県・四国森林管理局・四国の森づくりネットワーク）

四国の森づくりinかがわ実行委員会

（石清尾ふれあいの森フォーラム・森づくり香川連絡会・NPO法人どんぐりネットワーク・NPO法人こにふぁくらぶ・東かがわ市北山森林ボランティア会・綾川里山管理同好会・粉所里山くらぶ・フォレスターズかがわ・香川県緑サポーター会・NPO法人香川のみどりを育む会・香川県森林組合連合会・社団法人香川県木材協会・香川県森林協会・香川県林業普及協会・財団法人かがわ水と緑の財団・香川県）

時 間	内 容
12:30	開場
13:00	式典 プロローグ 讃岐国分寺太鼓保存会 挨拶 椋 彰 表彰 四国山の日賞
14:00	事例発表 県内小学校 高松市立屋島東小学校 県内企業 中庭住宅株式会社 里山オーナー 粉所里山くらぶ 森林ボランティア 那賀町立木頭中学校 (徳島県) 特定非営利活動法人 どんぐりネットワーク (香川県) 今治地方水と緑の懇話会 (愛媛県) 有限会社 安岡重機 (高知県)
15:30	基調講演 テーマ 「私たちの身のまわりにある森からの恵みを考える」 講師 京都大学フィールド科学教育研究センター長 柴田 昌三 氏
16:50	閉会

プロローグ 讃岐国分寺太鼓保存会

讃岐国分寺太鼓は、「町おこし事業」の一環として、1987年(昭和62年)に同好会として結成されました。当初は青少年ホームの活動のひとつに位置付けられ、同好会として活動していましたが、国分寺町(現在、高松市国分寺町)の協力を得て、1990年(平成2年)11月に保存会が設立されました。以後、数々の県内外の地域活動に密着した演奏活動を行い、1991年(平成3年)に後継者育成のため、子供太鼓も結成されました。

1997年(平成9年)には、讃岐国分寺太鼓結成10周年を記念して、サヌカイト奏者 宮脇馨子氏より寄贈された地元特産品のサヌカイトを演奏に組み入れた曲目「石熱(しゃくねつ)・「石響(しゃつきょう)」が、洋楽・邦楽を問わずジャンルを超えて精力的な活動を続けるマルチパーカッショニストの細谷一郎氏(東京都在住)の作曲により完成しました。

地域文化の発展に貢献することを目標とし、未来躍動への芸能文化として日々頑張っています。



「四国山の日賞」

四国4県と四国森林管理局が連携して、森林整備の推進、木材利用の推進、森林環境教育活動の推進に取り組むとした「四国の森づくりに関する共同宣言」に基づき、四国の森づくりに積極的に取り組んでいる団体などを「四国山の日賞」として表彰します。

平成23年度受賞団体

1 多面的機能の発揮に向けた森林整備の推進

● 今治地方水と緑の懇話会（愛媛県）

今治地方における人と自然とのふれあいを考えた森林づくりを目的に、地元の小・中学生を対象に森林整備体験活動を実施したり、他団体の活動への協力を行っています。

2 木材の利用推進

● みま薪ネットワーク（徳島県）

地域材の利用促進を図るため、木製プランターの企画開発、木工品の製作、薪のブランド化・普及啓発に取り組んでいます。

● 有限会社 安岡重機（高知県）

石油代替燃料を普及させるため、森林の中にある伐採後の残材を有価で購入して木質ペレットに加工し、加温ボイラー燃料としての活用に取り組んでいます。

3 森林環境教育活動の推進

● 那賀町立木頭中学校（徳島県）

地域の自然や文化を大切にし、感謝する心を育てるとともに、地域の自然環境の現状を知り、自分との関わりを考えるを姿勢を養うため、植樹活動や育樹活動、鹿の食害防止活動、林業教室等を実施しています。

● 石清尾ふれあいの森フォーラム（香川県）

高松市の峰山で、季節ごとに森を観察し、自然に親しみ自然の変化を学んでもらうため、小学生を対象に自然観察会を行っています。

● 特定非営利活動法人 どんぐりネットワーク（香川県）

人と森とが共生できる社会を目指し、早明浦ダム上流における森林保全活動、幼稚園・小学校・中学校・大学を対象とした森林環境学習、森づくり作業の方法や救急救命法を学んでもらう森林技術普及活動等を行っています。

高松市立屋島東小学校

所在地 香川県高松市屋島東町
生徒数 155名

1 活動目的

屋島の東に位置し、自然に恵まれた校区です。ふるさと屋島の山を次の世代に受け継ぐために、植樹などを通して活動を進めています。自然を愛し、ふるさとの人々を愛し、森を守る活動を通して自然環境の大切さを学び、地域に発信していきます。

2 活動内容

(1) 森林を育てる

校区の中にある「遊々の森」や「源平屋島の森」で、植樹や下草刈りなど森林を守り育てる活動を継続して行っています。

(2) 森の恵みを生活に生かす

①竹箸づくり

森に生えている竹を活用して毎年竹箸をつくり、自分たちでつくったうどんを試食するなどの活動を行っています。

②椎茸栽培

山からクヌギの木を切り出し、椎茸菌を植え付け、椎茸を栽培する活動を行っています。

③干し柿づくり

山の近くの柿の木から実を採取し、干し柿をつくり全校生で美味しく食しています。干し柿を作る際に、山に生えているシュロの葉を利用して干しています。

(3) 森林の働きを学ぶ

吸水実験を行い、森の土と運動場の土を比べることにより、森の土が水をよく吸収するという森林の働きを学びました。

(4) 森に親しむ

森の新鮮な空気を感じ取り、森の木を活用した遊びを通して、森に親しむことができました。



下草刈り



植樹



竹箸づくり



干し柿づくり



吸水実験



森のブランコ

3 成果と課題

森林活動を通して、ふるさとの森を大切に守っていこうという意識が高まりました。また、低学年の児童は、上級生の活動を間近に見ることで、自分たちも将来は森を守る活動に参加するんだという思いを強めることができました。

時間に限りがあるため、何度も足を運んで活動することができにくいという課題があります。

4 今後の目標

今後も、ふるさとの自然を守る活動を通して、ふるさとを思う心を育てていきたいと思ひます。また、地域への発信を通して、地域全体で森を守る活動を継続していきたいと思ひます。

中庭住宅株式会社

所在地 香川県高松市木太町

1 団体の目的・紹介

地球温暖化の脅威を肌で感じる21世紀。中庭住宅の企業姿勢は、住む人の健康と安全を最優先に考えながら、郷土の美しい自然を護り、「地球という名の星」といつまでも共棲できる本物の家創りを続けることです。そのために、情熱の限りを尽くし、「省エネルギー」・「環境保護」・「健康」・「安心・安全」この4つの大きなテーマに沿って、環境共棲住宅（ロハス1）を提案するとともに、四国・香川の森を守る活動を推進しています。

2 活動内容「ボランティア活動」

- (1) 林業育成活動の推進
 - ① NPO法人「地球の会」のメンバーとして森林育成活動の推進
 - ② 香川県フォレストマッチング事業の開始
- (2) 環境改善活動の推進
 - ① 弊社会長の故郷である豊島の海岸清掃の実施
 - ② 太陽光発電やエコアイデア商品の提案
- (3) 社会貢献活動の推進
 - ① 定期的な寄付活動



3 成果と課題

- (1) 林業育成活動
 - 平成18年～19年 高知県の早明浦ダム上流での間伐及び下草刈り
 - 平成20年 早明浦ダム上流で初の植林
 - 平成21年～23年 フォレストマッチング 塩江町安原下での間伐・下草刈り 0.2ha×3年
 - 間伐材を使った割り箸を作成配布（福島県へ義援物資として1万膳）
 - 公湫公園ちびっこ広場の休憩施設、菖蒲園の柵、丸亀町壱番街の木づかいベンチ、豊島檀山岡崎公園の六角堂、防護柵（45m）などを、ヒノキの間伐材を使って製作しました。
- (2) 環境改善活動
 - 平成17年～平成21年弊社会長の故郷である豊島の海岸清掃実施
 - 太陽光発電・エコキュート等の推進でCO2排出削減（森林面積188.6ha/年）
- (3) 社会貢献活動
 - 「高松市交通遺児を励ます会」・「廃棄物対策豊島住民会議」・「豊島自治会」・「豊島活性化プラン推進協議会」・「みどり整備課」・「土庄町議会」などへの寄付活動

4 今後の目標

地域に根ざした運営で100年もつ会社へ。継続的な社会貢献活動の推進。
ダンパック採用（断熱材）で、更に進化した環境共棲住宅の推進



粉所里山くらぶ（里山オーナー）

所在地 香川県綾歌郡綾川町

会員数 25名

1 活動の目的

民有林の里山の一部（区画）を個人が借受けてオーナーとなり、個人で里山整備・保全を行うと同時に、共同で周辺の整備等の活動を行います。

2 活動内容

(1) 区画の整備

オーナー各人が所有者との契約事項を守り、下草刈り・雑木の伐採・枯木等の除去・植林・シイタケ栽培等の作業を行います。

(2) 共同作業

①月に1回オーナー達が共有場所の下草刈り等の作業を行います。

②年に1回オーナー達の親睦を深めるため、シイタケ栽培に使う「ホダ木」の伐採・搬出・植菌等の作業を行います。

(3) 自治会活動への参加

年2回（6・9月）、地域の自治会活動に参加して、幹線道から約2kmの町道両脇の下草刈りや山裾の雑木の伐採作業をしています。

(4) その他

棚田の畔の草刈りや稲刈りの手伝い、植林されているスギ林の下草刈りや枝打作業をしています。



3 活動の成果

(1) 各区画の整備

①5年間で2ha（20区画）の整備を行いました。さらに、周辺1haについても整備に取り組んでいます。区画の整備状況については個々の比較はできませんが、共同作業等によって、全体の景観は良くなりました。

②あるオーナーが職場の人たち（約20名）と一緒に、年に3回程自分の区画を整備し、作業後は炊きだしの昼食会をして、親睦を深めました。

(2) 共同作業

作業のため道具類の収納に提供されていた物置が手狭間になったので、平成16年の夏ごろから、土地提供者から頂いたスギを活用し、「ログ倉庫」を手作業で作りました。



4 今後の目標

- ①野鳥・山野草・樹木等自然の豊富な里山の保存
- ②近隣の里山林にも活動の輪を広げていきたいと思ひます。
- ③区画制にこだわらない整備

那賀町立木頭中学校

所在地 徳島県那賀郡那賀町
生徒数 28名

1 活動の目的

- ①地域の自然や文化を大切に、感謝する心を育てること。
- ②地域の自然環境の現状を知り、自分との関わりを考えること。

2 活動内容

(1) 植樹活動

平成3年度よりブナ等広葉樹の「植樹活動」を那賀川源流域で実施し始めました。平成19年度からは、那賀町木頭北川の杉の伐採跡地に場所を変更して「植樹活動」を継続しています。

(2) 育樹活動

植樹した木を順調に生育させるため、下草刈りを継続するとともに、食害防止ネットの設置を行いました。

(3) どんぐりプロジェクト

平成19年から木頭地区で採取したどんぐりの実から苗木を育て、その木を植樹する「どんぐりプロジェクト」を実施しています。

(4) 鹿の食害防止活動

昨年度から本校が植樹活動を実施していた那賀川源流域の自然林において、鹿の食害防止のためラス巻きを始めました。

(5) 林業教室（間伐実習）

学校林では、30年前、生徒たちの親世代が植林した杉を、平成17年度より計画的に関係機関の指導のもと間伐実習を実施してきました。



植樹活動（終了後の記念写真）



育樹活動（草刈り）



鹿の食害防止活動（ラス巻き）



林業教室（間伐実習）

3 成果と課題

試行錯誤の繰り返しでしたが、これまでの実践により、植樹・育樹活動と林業教室（間伐実習）は地域に根ざした学習活動として定着してきました。昨年度より始めた那賀川源流域における鹿の食害防止活動については、専門家の方に指導をいただくことにより、その意義や目的を生徒に十分に理解させ、活動に当たりたいと考えています。

4 今後の目標

活動を通し、地元の講師・関係機関の方々から森林の大切さはもとより、地域の自然や文化、歴史や伝統、そして、そこに生活する人々の思いや願いを実体験により学び、ふるさとへの愛着を深めるとともに、自己の生き方について深く考えていこうとする態度や実践力のある生徒の育成を目指します。

特定非営利活動法人 どんぐりネットワーク

所在地 香川県木田郡三木町
会員数 325名

1 活動の目的

人と森とが共生できる社会づくりを目的としています。

2 活動内容

- (1) 県民総参加の森林づくりの推進
 - ① 定例行事の開催
 - ② 企業など多様なテーマを持つ団体との森林保全活動
- (2) 水源の森づくり
 - ① 香川県の水源の森である早明浦ダム上流域での森林保全活動
- (3) 森林環境学習
 - ① 森の幼稚園事業、小学校、中学校、大学の環境教育の受け入れ
- (4) 森林技術普及活動
 - ① 森のあれこれ塾、救急救命法など
- (5) 指定管理業務
 - ① ドングリランドの指定管理者としての運営



3 成果と課題

- ① 平成 22 年度の活動日数は延べ 440 回、参加者数（スタッフ含む）は延べ 13,000 人
- ② 企業などの団体とのコラボレーションによる森林づくりが行えるようになりました。
- ③ ドングリランドまつりでは、大規模な普及啓発催事として多くの参加者に恵まれ、また、資金面でも自立した運営が行えるようになってきました。
- ④ ドングリランドの森の適切な管理により、美しい里山の風景を取り戻しつつあります。
- ⑤ ウェブや会報などで、多くの皆様に森林づくり活動の情報を知らせることができました。
- ⑥ 森林づくり団体だけでなく、子育て支援団体、被災地支援団体などとの協働により、参加者層の拡大につながっています。

4 今後の目標

- ① さらなる参加者層、参加人数の拡大
- ② 持続可能な森林ボランティア団体としての運営
- ③ 多くの人たちの心に木を植え、森を作っていくこと



今治地方水と緑の懇話会

伊予三郡国木原川等 創設所
治山部 委員会

所在地 愛媛県今治市 高野町
会員数 206名

1 活動目的

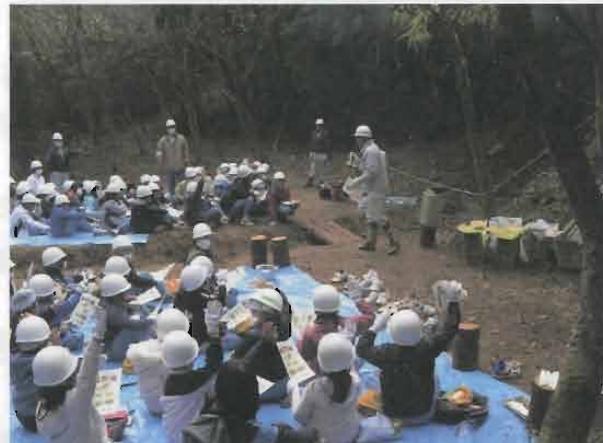
今治地方の未来を考え、清浄な空気・清潔な水資源・治山・治水を含め、人と自然とのふれあいを考えた森林づくりを研究することにより、将来に向けた森林基盤作りに資することを目的としています。

2 活動内容

- ① 図書の発行
- ② 地域の小・中学生を対象に、森林整備体験活動を実施
- ③ 他団体の活動への協力

3 成果と課題

- ① 明治時代からの、当地方における治山・治水のあゆみ、利水のあゆみ及びふれあいの森構想等を紹介した、「今治地方水と緑の文化史」を発行しました。
- ② 平成8年度から、小・中学生と会員による木工教室、苗木の植栽、枝落とし及び除間伐等の森林整備体験活動を計15回実施しました。
- ③ 他団体の森林整備活動に対して、植樹や間伐、枝落としの指導や、それに必要な作業道具等装備品の貸し出しを行いました。また、今治市の企業の森林づくり事業におけるボランティア活動の運営を行いました。



4 今後の目標

地元の小・中学校と協力し、今治市市有林を中心に、苗木の植栽、枝落とし、除・間伐等の森林整備作業と間伐材等を利用した木工教室を組み合わせることで実施することにより、水源林整備の大切さや森林緑化思想の普及拡大に努めたいと思います。

また、他団体の活動に対しても同様な支援を行うとともに、活動状況の情報発信も行っていきたいと思っています。

有限会社 安岡重機

所在地 高知県安芸市

1 活動の目的

昭和55年、とび土工工事業、運送業として創業。以来、産業廃棄物処理業（収集運搬・処分）として、高知県東部安芸地域を中心に事業展開してきました。近年では、事業の伐採によって排出された木くずを破碎し、リサイクル（堆肥・パーティクルボード原料）として活用しています。

今回は、木くずの破碎技術が活かせるよう木材加工業を業種追加し、森林にある林地残材を有価で購入し、安芸地域で盛んな園芸ハウス用燃料として木質ペレットの生産加工に取り組みました。また、製造工程においてもバイオマスボイラーを導入し、木くずを活用した乾燥熱源としています。

将来は、木質ペレットの販路拡大のため、公共施設の冷暖房設備への活用、一般住宅の暖房施設（ストーブ）等への普及にも努めたいと思います。ペレットのほかに畜産用、堆肥用にも細分化された製品生産へも可能な限り取り組みます。



2 活動内容

産業廃棄物運搬処理業の傍ら、森林の中にある伐採の林地残材を産廃として焼却することなく加温ボイラー燃料用の木質ペレットに加工し、石油代替燃料を普及させるために地域と共同で取り組んでいます。

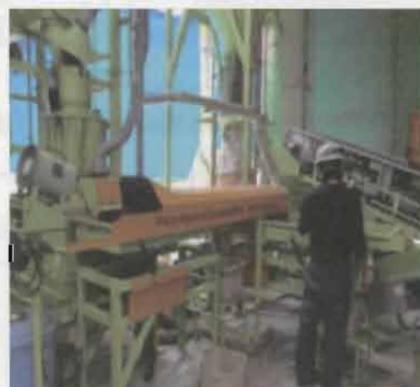
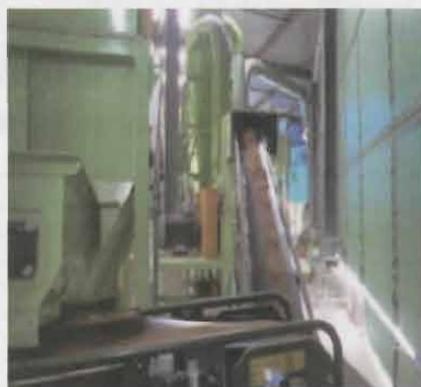
3 成果と課題

国や県などの助成により加工流通施設を整備しました。品質の検査、森林からの原材料確保、農家へのボイラー設置整備体制で事業展開しています。

現在、官民によるペレットの品質データーの解析、最適な形状や物性等の調査を実施しています

4 今後の目標

ペレットの品質確保（燃烧カロリーへの向上、残灰の低減と利用）
 原材料の確保（流通運搬コストの確保及び数量確保）と選別等
 ペレット積替保管施設の確保





演題「私たちの身のまわりある森からの恵みを考える」

京都大学フィールド科学教育研究センター長

柴田 昌三 氏

【柴田昌三氏のプロフィール】

1959年京都市生まれ。

京都大学農学研究科の博士後期過程を終了後、京都大学農学部の講師、助教授、教授を経て、2010年からフィールド科学教育研究センター長に就任。

専門は里山資源保全学、竹類生態学、緑化学。

世界竹組織常任理事、日本造園学会理事、日本緑化工学会副会長、国際景観生態工学連合事務局長等も務める。

タケの生態や管理方法、里山資源の再利用、緑化植物に関する研究を行っている。「タケ・ササ類の造園的利用に関する研究」など多数の論文を発表し、「竹・笹のある庭」など多数の著書を執筆している。

【講演の要旨】

私たち日本人は、自分たちのまわりにある自然からの恵みを受けながら、生活を続けてきました。私たちはそれを海の幸、山の幸と呼んでいます。これらの幸にはさまざまなものがあります。食料、薬品、家の材料、薪や炭など、あげ始めるときりがありません。そして、どのようなものがどこに存在して、どのように管理するとそれが効率的に得られるのか、私たちの祖先はよく理解していましたし、その知識は今の70代から80代の方々までは、連綿と受け継がれてきました。しかし、長年にわたって受け継がれ、培われてきたこのような知識は、あっという間に失われつつあります。自分たちが身のまわりにある自然の恵みを享受する権利を放棄してしまったからです。今、この知識がかろうじて語り継がれているうちにこれを取り戻さないと、私たちは海の幸も山の幸も得るすべを失ってしまうでしょう。お年寄りたちの知識をもう一度知り、新たな自然の恵みの利用を考える時が迫っています。

専用バスで移動します

●集合場所：高松テルサ ●集合時間：午前8時15分

【コースと概要】

①香川県産木材利活用コース

森林ボランティア団体「こにふあくらぶ」が行っている搬出間伐と、かがわ木材加工センターを見学します。

②竹林整備と宝山湖見学コース

森林ボランティア団体「綾川里山管理同好会」が行っている竹林整備と、香川用水調整池「宝山湖」周辺の植樹地を見学します。

③ドングリランドまつり参加コース

森林ボランティア団体「どんぐりネットワーク」がドングリランド（高松市西植田町）で開催する「ドングリランドまつり」に参加します。

④座談会コース

森林の現状や育て方等について、専門家を交えた意見交換を行います。

テーマ：「元気な森ってどんな森！」

司会：増田拓郎（香川大学教授）

話題提供者：鶴見武道（愛媛大学教授）、川西玉夫（樹木医）

【バス運行表】

①香川県産木材利活用コース	②竹林整備と宝山湖見学コース	③ドングリランドまつり参加コース	④座談会コース
8:30 高松テルサ出発	8:30 高松テルサ出発	8:30 高松テルサ出発	8:30 高松テルサ出発
9:45 現場到着 搬出間伐実施状況視察 (木田郡三木町)	9:45 現場到着 宝山湖及び県植樹祭 実施地視察	9:30 現場到着 ドングリランド まつり参加 〔当日券:大人1,200円 小人 500円〕	9:20 会場到着 座談会 (香川県東部林業事務所)
10:45 現場出発 ↓	10:00 現場出発 ↓	11:30 現場出発 ↓	11:30 会場出発 ↓
11:15 現場到着 かがわ木材加工 センター視察	10:45 現場到着 竹林整備実施状況視察 (綾歌郡綾川町)	11:45 昼食場所到着 讃岐うどんの昼食 (支払いは各自で)	11:45 昼食場所到着 讃岐うどんの昼食 (支払いは各自で)
11:45 現場出発 ↓	11:15 現場出発 ↓	12:45 昼食場所出発	12:45 昼食場所出発
12:00 昼食場所到着 讃岐うどんの昼食 (支払いは各自で)	11:30 昼食場所到着 讃岐うどんの昼食 (支払いは各自で)	13:00 香川県東部林業事務所駐車場着	13:00 香川県東部林業事務所駐車場着
12:45 昼食場所出発	12:15 昼食場所出発	13:00 香川県東部林業事務所駐車場着	13:00 香川県東部林業事務所駐車場着
徳島県・高知県・愛媛県からの参加者は、各県のバスに乗り換えて帰省します。 希望者は、13時30分に香川県東部林業事務所を出発するバスで、高松テルサに戻ります。			
13:30 香川県東部林業事務所出発			
14:00 高松テルサ			